

9月に入り、暑さ疲れ、コロナ疲れの不調を訴える方が増えているようですが、皆様はお変わりございませんか？

おおみや教会通信の返信用はがきには多くの方が励ましの言葉を添えて下さり、一同感激しております。続けていく励みになります。ありがとうございます。

別紙に司教様の第11次のメッセージをお付け致します。残念ながら9月末までは現状のままとなります。現在ミサに参加できない方のために谷神父様も心を砕き、積極的に働きかけをして下さっています。

今を祈りの時として

北区 嶋田

・コヘルト 3章 1節「何事にも時があり…」

この半年以上、世界中の多くの人々は今迄思ってもみなかった苦しい日々を過ごしている。見えない敵に拳を振り上げてみても空しい。人類の英知をもってしても征服するのは不可能。共存しか方法はないと言われている。

高齢で心身共に力衰え、どう生きて行くかと改めて自分に問うてみる日々である。が、答えは簡単ではない。嘆いてみてもどこからか答えが聞こえることもない。今の「時」を祈りの「時」として与えられると信じたい。

・相合傘

70年程前のこと、高校生の時、下校時、友人と校舎を出ると雨が降っていた。まだ戦後の貧しい時代。置き傘とか、折り畳み傘、ましてコンビニなど

ない時代。相合傘で帰ることに。「ロザリオをしながら帰りましょう」と言うことになった。15分程祈りながら歩いたことだけは鮮明に憶えている。ただ祈ることが特別なことではなかったであろう。

・普段の祈り

旧聖堂時代、委員会の帰りに土持先生とご一緒した。

「運転中に思いがけないことが起こり、思わずアベマリア！と大声で叫んだことがあります」と私。

医師として多忙な日々を過ごされ、7人のお子様のお父様として懸命に生きておられた土持先生は「祈りは沢山あるけれど、最期にはマリア！と誦えることができれば幸せです」と。

ミサ前にいつも熱心にロザリオを繰っていらした姿が思い出される。

・黙想

親しい聖書の場面を思い出し、そこに主イエスの生涯に常に寄り添われたマリア様への祈り。祈りに場所が必要なのではないという自由さ。

「カナの婚宴」弟子達と共に出席なさったイエス。師として弟子たちの衣食住に責任ある立場で満足に食事にありつける絶好のチャンス。大いに食べ、飲まれた様子。「お酒が足りなくなりそうです」との言葉はイエスにとってすぐにピンとこなかったよう。盛大な結婚披露宴を挙げた当事者にとって酒が無くなるのは面目丸つぶれの一大事。奥で手伝っていらしたマリア様の言葉に行動を開始されたイエスは、人間社会の一つの経験を積まれたのではと思う。

アベマリア！貴女の導きで、主イエスの望まれる生き方に近づくことができますように。



今年の初め、中国で変な病気が流行っているとニュースで聞いてしばらくすると、それがコロナという名前で、中国の武漢から全世界にあつという間に感染が拡大してゆきました。当初は、「ウィルスとの戦争だし、本当の戦争のように爆撃等で死ぬわけでもないのだから、ステイホームして読書や好きな映画の DVD でも見てればいいので楽勝。」と呑気に構えていました。しかし、実際はそんなに甘くありませんでした。見えないウィルスとの戦い、三密を避けて外出時は必ずマスクをして、不要不急の外出をやめるとい日々が長期化するにつれて、今までとは異なる緊張した毎日に精神的にも肉体的にも疲弊し、徐々に追い詰められたような気分になることもありました。

そんな折、6月21日から主日のミサが再開されました。しかし、参加者は64才以下に限定とのことで、私はぎりぎりクリア。どんな御ミサになるのか不安を抱きつつも、久しぶりに御ミサに与ることができる喜びとの半々で大宮教会へ行きました。参加して驚いたのは、大宮教会に所属する64才以下で、主日の御ミサに参加する人はこんなに少ないのかということでした。毎回50人前後の参加です。年齢制限はクリアしていても、感染を恐れて来られない方もいらっしゃるのでしょう。また、コロナ禍の中では当然の対応ですが、歌声のない御ミサ、これははっきり言って味気なく、今が異常な状況下にあることを思い知らされる場面でもあります。実に物足りなく寂しい限りです。聖歌を歌う事ができなくなった今、聖歌を歌う事や聖歌に込められた祈りの素晴らしさを痛感しています。

最近、「祈るしかない」という言葉をよく聞きます。また自分自身もそのような思いに駆られることがよくあります。年齢制限付きの主日だけの御ミサしかなく、教会に自由に行けなくなった今、もう家で祈るしかありません。朝に夕に、皆が過剰な心配をしなくて、コロナ対策に努めながら元気に過ごすことができるように祈っています。私の場合、コロナ以前よりもよく祈るようになり、毎日神様を身近に感じています。これってコロナがもたらしたメリットと言えるかもしれません。悪いことばかりではないようです。

どうぞ皆様お元気で、近い将来大宮教会でお会いできる日を心待ちにしています。

<委員会からのお知らせ>

9月12日の信徒委員会で、共同墓工事費用の見積額が承認され、墓石の種類と配置が決まりました。

今年中の運用開始を予定しています。



<サンパウロ・予約販売のお知らせ>

当教会の山野井さんが窓口になってくださり、サンパウロの手帳・カレンダー等の予約販売を致します。

注文ご希望の方は、申込書にご記入の上、日曜日または木曜日の10時～14時にご持参いただくか、教会宛てに郵送ください。お品は代金との引換になります。（郵送の方にはカタログと注文書を同封致しました。）

* 今号は、受け取り方法をFAXに指定された方にも郵送でお届け致します。FAX送信には時間がかかり、また、画質が悪くなるのがわかったためです。ご了承くださいますようお願い致します。

* おおみや教会通信はホームページ(<https://catholic-omiya.net>)からもご覧いただけます。

* 投稿を募集しております。ファクスか郵送で受け付けております。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350

カトリック大宮教会 おおみや教会通信宛

☎048-641-2935 FAX048-641-2724